



まきび進路だより

令和8年7月10日発行
岡山県立倉敷まきび支援学校
進路指導係

◎高等部現場実習がありました

高等部1、2年生は6月1日～12日の2週間、3年生は19日までの3週間にわたって、現場実習を行いました。1年生は「初めての校内での実習」、2年生は「初めての一人で校外での実習」、3年生は「進路先を決めていくための実習」でした。それぞれの学年で目標をもって取り組んでいました。

成果があった人・課題が見つかった人、それぞれの結果があったと思います。決して易しいものではなかった実習の経験を自分のものとして生かしていけるよう、これから自分でどのように考えて、どのように進んでいくかが大切です。今回の実習の経験を、次の実習に生かせるように学校でも取り組んでいきます。

【実習の様子】



高等部1年生校内実習



高等部1年生は初めての校内実習でした。
職業コースはひも通し、くくり、検品等の作業を分担しながらペットボトルホルダーを製作しました。
生活コースは布の裁断、解体作業等を行いました。丁寧に作業することを意識して取り組みました。

高等部2年生校外現場実習(体験実習)



高等部2年生は初めての個別での校外現場実習でした。
実習先の職員さんの指示を受けて仕事をしたり、知らない人ばかりの中で休憩時間を過ごしたりと、緊張の2週間だったと思います。保護者の方も不安の中、送り出していただいたことと思います。実習先の方から評価を聞くと、今まで身に付けてきた力が発揮できている姿や、社会で働いていく上で今後身に付けなければならない力が見えてきます。卒業後の生活や自立に向け、これから学校や家庭で課題を意識し、様々なことに取り組み、スキルアップして行ってほしいです。

高等部3年生校外現場実習(進路先を決めるための実習)



高等部3年生は卒業後の進路先を決めるための現場実習でした。
多くの生徒が2年生で体験として行ったことのある事業所での実習で、実際に働く時間や曜日で働いたり、仕事内容も複雑になっていたりする生徒もいました。昨年度からの成長も見られ、実習先から良い評価を受けることができた生徒も多く見られました。この評価に満足せず、自分の夢を叶えるためにより高い目標をもち続けて行ってほしいです。

A 部門 中学部 進路学習

A 部門 中学部では、進路学習の一環として事業所見学を行っております。今年度、1 年生と3 年生は6 月に、2 年生は10 月に見学を行います。

進路学習では、「高等部卒業後の生活」や「働くこと」について学び、自分の将来について考える力を育てることを目的としています。今回の見学では、実際に働いている方の様子や仕事の内容を見学し、事業所の方からお話を聞かせていただきました。

【1 年生見学の様子】



1 年生は中学部に入学し、初めての進路学習でした。

実際に事業所で働く人の姿を自分たちの目で見たり、仕事の体験をしたりすることで、働く理由や働くために必要なことを学び、働くことへの関心をもつことができました。

【3 年生見学の様子】



3 年生は高等部進学に向けて、より働くことへの意識をもったり、マナーを守って見学したりできるように事前学習を重ねて見学に臨みました。自分たちが作業学習で取り組んでいる姿勢と事業所で働いている人の姿を比べることで、自分たちの課題や高等部に向けての目標に気が付くことができました。生徒からは、「自分も頑張りたい。」や「返事の仕方に気を付ける。」など、働くことへの意識が高まるような声を聞くことができました。

中学部では、今回の進路学習だけでなく、作業学習等を通して、働くために必要な資質や能力を身に付けていきます。

進路について考えることは、「卒業後のため」だけでなく、「今の学校生活をよりよく過ごすこと」にもつながります。今後も様々な学習や体験を通して、生徒一人一人の将来につながる力を育てていきたいと思えます。